

市民参加プロセス計画書：（仮称）新岡崎市観光基本計画

Q・そもそも、なぜこの計画又は事業が必要なのか？計画策定又は事業推進により解決したい課題は何か？

・本市は、観光と商業が連動した観光産業都市にふさわしい誘客資源が充実したまちを目指しています。
・「岡崎市観光基本計画アクションプラン（平成29年度～令和2年度）」の終期には感染症が拡大しており、臨時的に「ウィズ・コロナ期観光戦略（令和2年12月～令和4年度）」を策定して取り組んできました。
・令和5年は、大河ドラマ放送や新型コロナの5類移行など新たな局面を迎え、基となる観光基本計画も策定から15年以上が経過していることから、アフターコロナ、アフター大河を見据えた、新たな計画が必要です。

	実施時期（年月）	具体的な市民参加手法・実施場所・実施回数など	対象者（対象とした理由）	・提供する情報 ・聴取したい情報	目的（何についてどこまで合意形成したいか）
検討段階	令和3年2月	岡崎市民観光意識調査（eモニター）	全市民（市民の観光に対する意識について調査するため）	・岡崎市の観光についての意識調査 ・岡崎市民が市のグルメ、土産、観光スポット等についてどれだけ知っているか。	新計画の策定資料として、市民の観光意識について、調査結果を得る。
	令和3年8月	市民広聴会「まちづくりほっとミーティング」	公募市民（大河ドラマ「どうする家康」を契機とした観光施策に興味のある市民から意見を聴取するため）	・大河ドラマを契機とした観光施策について ・大河ドラマ効果に期待するもの、それを軸とした観光のアイデア、アフター大河に残すべきもの等。	新計画の策定資料として、市民が大河ドラマ効果に期待するもの、それを契機とした観光施策への意見等についての調査結果を得る。
	令和5年2月～	市内・市外向けアンケート	市民、観光客等の意見を新計画に反映するため	・岡崎市の観光についてのアンケート ・岡崎市のイベントについてのアンケート ・観光客等の観光消費額アンケート	新計画の策定資料として調査結果を得る。
	令和5年2月	第二回岡崎市観光基本計画推進委員会（現地視察等）	観光基本計画推進委員（専門家、観光事業者及び観光推進に意欲のある市民などの多様な意見を新計画に反映させるため）	・新計画の素案 ・上記案に対する意見、提案、内容の検討	新計画の大枠について、合意を得るとともに基本戦略の内容等について検討する。
構想段階	令和5年4月～	HPやSNSによる積極的な情報発信	全市民（とりわけ観光施策に無関心な市民等に本市の観光施策を理解していただくため）	・大河ドラマを契機とした観光施策について ・アフター大河に向けた観光指針について ・新計画の大まかな方向性	大河ドラマを契機とした観光施策及び大河需要が去った後の本市観光施策に理解を得て、岡崎市全体で気運を盛り上げる。
	令和5年6月	ウェブを活用した広域アンケート	全国在住者（本市を訪問したことのない方に対し、観光目的での訪問を検討する際の優先項目等を調査するため）	・本市観光施策についてのアンケート ・観光を目的とする際の優先項目についてのアンケート	本市を観光目的で訪問してもらうために必要な要素等を確認する。
計画段階	令和5年6月	第一回岡崎市観光基本計画推進委員会（本庁舎内会議室）	観光基本計画推進委員（専門家、観光事業者及び観光推進に意欲のある市民などの多様な意見を新計画に反映させるため）	・新計画の素案 ・新計画の素案に対する意見	新計画の素案を示し、市の考えと市民（公募委員）の考えのすり合わせを行う。項目、指標、具体的な計画内容について合意を得る。
	令和5年9月	パブリックコメント	・全市民（パブリックコメントは誰からの意見も受け付けるため） ・観光関連事業者意見徴収	・新計画（案） ・新計画（案）に対する意見	新計画（案）に内容に対する合意を得る。
	令和6年1月	第二回岡崎市観光基本計画推進委員会（本庁舎内会議室）	観光基本計画推進委員（専門家、観光事業者及び観光推進に意欲のある市民などの多様な意見を新計画に反映させるため）	・パブリックコメントの報告、新計画完成版の提示	完成した新計画を提示する。
実施・運用段階					